

参加と連帯のセーフティネット—人間らしい品格ある社会への提言

(埋橋孝文・連合総研編 ミネルヴァ書房)

「参加保障・社会連帯型の新しい社会政策・雇用政策の大綱に関する研究委員会」(*主査)

- *埋橋 孝文(同志社大学社会学部教授) 阿部 彩(国立社会保障・人口問題研究所
社会保障応用分析研究部長)
- 禹 宗杭(埼玉大学経済学部教授) 齋藤 立滋(大阪産業大学経済学部准教授)
- 菅沼 隆(立教大学経済学部教授) 宮寺 由佳(浦和大学総合福祉学部准教授)
- 室田 信一(NPO 法人三島コミュニティ・
アクションネットワーク コミュニティソーシャルワーカー)
- 伊藤 彰久(連合生活福祉局次長) 弘岡 建史(連合雇用法制対策局次長)
- <オブザーバー>
- 溝口慎一郎(自治労総合政治政策局主幹) 伊古田隆一(前連合雇用法制対策局部員)

現在、日本ではセーフティネットを構成する雇用や社会保障制度から漏れ落ちている人々は少なくない。それは、非正規労働者に代表されるようなワーキング・プア、長期失業者、学卒未就業者、ひとり親といった人々である。その原因として、セーフティネットの機能不全や綻びがこれまでも指摘されてきたが、2008年には世界同時不況、2009年には政権交代など劇的な出来事が起こり、セーフティネット改革の必要性はますます高まっている。

連合総研では、2007年秋に「参加保障・社会連帯型の新しい社会政策・雇用政策の大綱に関する研究委員会」を発足させ、約2年間にわたり中長期的な視点から新たなソーシャル・セーフティネットのあり方、具体的な制度設計の検討を重ねてきた。その研究成果として、ディーセントな社会の実現に向け、参加保障と社会連帯の理念にもとづく各層セーフティネットの政策提言をとりまとめた。

目次

- 序章 「参加保障・社会連帯型」社会政策を求めて
- 第Ⅰ部 第1層(雇用・最低賃金の保障)と第2層(社会保険の適用拡大)のセーフティネット
- 第1章 セーフティネットとしての最低賃金
- 第2章 雇用政策の再構築に向けて
- 第3章 参加保障型社会保険の提案
- 第4章 参加保障型雇用保険の構想
- 第5章 国民年金の再構築—高齢期のセーフティネット・最低限生活保障として
- 第Ⅱ部 第3層(税額控除, 社会手当・社会サービス)と第4層(生活保護)のセーフティネット
- 第6章 3層のセーフティネットから4層のセーフティネットへ
- 第7章 「求職者就労支援制度」の創設
- 第8章 医療費軽減制度
- 第9章 「住宅セーフティネット」の拡充—家賃補助
- 第10章 ワーキング・プア対策としての給付つき税額控除
- 第11章 地域における「参加」の入口—相談援助機能
- 第12章 所得保障としての生活保護と社会福祉としての生活保護
- 終章 ディーセントな社会への展望—提言の総括